

## 平成30年度 岡山学芸館高校 選抜2期入試【2月23日】 解答解説（社会）

## 1

- 【正解】 ①(1) エ (2) (例)高齢者 1 人を支える現役世代の人数が減り、現役世代の負担が増える  
 (3) ア (4) イ→ウ→エ→ア  
 ②(1) 平等選挙 (2) ウ (3) 野党  
 ③(1) インフレーション(インフレ) (2) ア

## 【解説】

- ①(1) ア…千人当たり死亡率が最も低いアメリカ合衆国は、女性の平均寿命が最も短いので誤り。イ…フランスだけでなく、イタリアも当てはまるので誤り。ウ…男女の平均寿命の差が最も大きいのは日本なので誤り。  
 (3) 地方公共団体の住民が減少すると、住民が納める地方税の歳入に占める割合が減少する。一方で、地方公共団体間の格差を縮小する目的で国から支給される、地方交付税交付金の割合が増加する傾向となる。  
 ②(1) 選挙の四つの原則には、平等選挙(誰もが1人1票を投票する)のほかに、秘密選挙(投票内容を知られない)、普通選挙(年齢以外に選挙権に制限を設けない)、直接選挙(候補者本人を直接選出する)がある。  
 (2) 憲法改正の発議は、衆議院と参議院の両院で、総議員の3分の2以上の賛成を必要とし、衆議院の優越は適用されない。  
 ③(1) 好景気(好況)のときに物価が上がり続ける現象をインフレーション(インフレ)というのに対し、不景気(不況)のときに商品の需要量が供給量を下回る状態が続き、物価が下がり続ける現象をデフレーション(デフレ)という。  
 (2) 不景気(不況)のときには、市場の通貨量を増やして銀行が企業などに資金を貸し出しやすくするため、日本銀行は銀行から国債などを買う。

## 2

- 【正解】 ① ウ ② 平将門 ③ (例)生活が苦しくなった武士を救うため。  
 ④ ウ ⑤ 株仲間 ⑥ イ

## 【解説】

- ① アは弥生時代、イは古墳時代、エは旧石器時代である。たて穴住居は縄文時代からつくられるようになり、奈良時代の頃まで一般の人々の住居としてつくられた。  
 ② 10世紀半ばに、関東で平将門、瀬戸内海で藤原純友が朝廷に対する反乱をおこした。朝廷は、これらの反乱を他の武士の力を用いてしずめたため、武士の力が台頭するきっかけとなった。  
 ③ 資料は鎌倉幕府が出した徳政令で、武士(御家人)が質に入れたり売ったりした土地を取り戻させることを認めた法令である。この法令によって武士の生活が救われたのは一時的で、幕府の信用を失うことになった。  
 ⑤ 商人の同業者組合である株仲間は、幕府に税を納める代わりに営業の独占が認められた。18世紀後半に老中となった田沼意次は、商業を重視する政策をとったために株仲間の結成を奨励したが、19世紀半ばに老中となった水野忠邦は、営業の独占が物価上昇の原因であるとして株仲間を解散させた。  
 ⑥ 後白河上皇は12世紀半ばに院政を行った。このころには平清盛が太政大臣となり、宋との貿易をさかんに行った。

## 3

- 【正解】 ① ウ ② アパラチア(山脈) ③ エ ④ エ  
 ⑤ (例)アメリカ合衆国や日本と比べて労働力人口が多く、賃金が安い

## 【解説】

- ② 北アメリカ大陸には、東側に低くなだらかなアパラチア山脈、西側に高く険しいロッキー山脈が位置している。  
 ③ アはフィリピン、イはベネズエラ、ウはパキスタン、エは南アフリカ共和国である。  
 ④ 1人当たり国民総所得が最も多いアはD(スウェーデン)、人口密度が高く輸出額上位3品目に茶がふくまれるイはC(スリランカ)、輸出額上位3品目に大豆がふくまれるウはB(アルゼンチン)、人口密度が最も低いエはA(オーストラリア)である。

- ⑤ Yの国(インド)は、イギリスの植民地であった名残から英語が広く用いられ、言語が異なる民族間の共通語となっている。また、数学の教育水準が高いことも特徴である。こうした背景に加え、人口が多く労働力が豊富なことや賃金が安いこともあり、欧米のIT(ICT)企業がさかんに進出している。また、アメリカ合衆国の企業は、地球の正反対側に位置するインドにコールセンターを置くことで、24時間対応を可能にできるという利点もある。

## 4

- 【正解】 ①(1) (例)二酸化炭素の排出量が少なく、環境にやさしいため。 (2) カルデラ (3) イ、オ  
 ②(1) 仙台(市) (2) (例)太平洋側の地域では、夏に北東から冷たくしめったやませが吹くため。  
 (3) イ

## 【解説】

- ①(1) 九州地方には火山が多く、火山の熱を利用した地熱発電がさかんに行われている。地熱発電や太陽光発電、風力発電などの再生可能エネルギーは、二酸化炭素をほとんど排出しないという長所がある一方、発電量が天候などによって安定しないという短所もある。  
 (3) Bの県(宮崎県)は、畜産や畑作がさかんである。畜産では、肉用牛、豚、肉用若鶏などの飼育が全国有数である。畑作では、冬でも温暖な気候を生かしたピーマンやきゅうりの促成栽培がさかんである。  
 ②(2) 東北地方の太平洋側は、寒流の千島海流(親潮)の上を通って吹いてくる北東の風の影響を強く受ける。この北東の風をやませといい、夏に吹き続けると農作物が十分に生長しなくなる冷害をもたらすことがある。一方、日本海側は冬の降雪量が比較的多くなっている。  
 (3) 平泉は岩手県に位置する。アは近畿地方、ウは中国・四国地方、エは中部地方の世界遺産である。

## 5

- 【正解】 ① 3(%) ② 富岡製糸場 ③ エ  
 ④ (例)植民地との結びつきを強める一方、他国からの輸入品には高い関税をかけてしめ出す政策。  
 ⑤ イ→エ→ア→ウ ⑥ (X)健康 (Y)文化 ⑦ D

## 【解説】

- ③ エ…民撰議院設立の建白書は、1874年に板垣退助らが政府に提出し、特定の藩の出身者が要職をしめる藩閥政治を批判して議会の開設を求めたものである。  
 ④ 世界恐慌に対して、広大な植民地を持つイギリスやフランスは、植民地との結びつきを強める一方、他の国からの輸入品には高い関税をかけてしめ出すブロック経済の政策をとった。また、アメリカ合衆国では、公共事業を積極的におこして失業者を減らし、労働者を救うニューディール政策がとられた。一方、社会主義政権のソビエト連邦は、五か年計画による計画経済を行っていたため、世界恐慌の影響をほとんど受けなかった。  
 ⑤ イ(中華人民共和国の建国、1949年)→エ(アジア・アフリカ会議の開催、1955年)→ア(沖縄の日本復帰、1972年)→ウ(ベルリンの壁の崩壊、1989年)の順となる。  
 ⑦ 新聞記事は、1933年に日本が国際連盟から脱退したことを報道したものである。1931年、日本は満州事変をおこして満州国を建国したが、国際連盟はこれを認めず日本軍の満州からの撤退を勧告したため、これに反発した日本は国際連盟を脱退した。